

日刊 動労千葉

79.9.10
No. 220

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八(動力車会館)
鉄電二三五八〇九(公衆電話)七二七二〇七

衆院解散・総選挙へ!

80年代を決する重要な陣いー総選挙

自民党大平内閣は、九月七日党利党略のために、名目のない国会解散を行い、九月一七日公示、十月七日投票のゴリ押し日程で一党独裁を狙った衆院総選挙を強行しようとしている。

こうした動向に対し千葉県においては県社会党、県労連を中心に、支持労組、団体を結集し、八月二二日「総選挙闘争千葉県合同選対」の結成をはじめ、県下各選挙区での具体的な闘いが開始されている。

危機意識むき出しの反動攻撃の激化

今日、有事立法・元号法制化・サミットを頂点とする政治反動が矢つぎ早やにかけられてきており、海外への侵略体制は、自衛隊の核武装化、軍事大国化の動向とあいまって急速に進められてきている。ごく最近の動向だけでも、中国領土である釣魚台(米岡列島)へのペリポト強行建設、沖縄における自衛隊も含む米軍大増習、山下防衛庁長官の訪米、訪

韓にみられる「日米韓の軍事一体化」など、恐るべき現実が急ピッチで進行している。

自民党の独裁体制を許すな ―推せん候補の全員当選を―

こうした中での総選挙闘争の意義は明白である。今日の自民党腐敗政治にみられる支配体制の根底的危殆の乗り切りのために、国民大衆への反動を強め、戦争体制強化のこの攻撃を絶対に許してはならない。総選挙闘争に勝利し、この攻撃に歯止めをうつ中で闘いの戦列を強化していこうではないか。

異例の八月国会招集、九月臨時国会―解散―総選挙……この反動攻撃とあいまっこの国鉄35万人体制攻撃、二期工事強行攻撃。われわれは真正面からこれらをうちくだいて進もうではないか。80年代をきり拓く闘いを実現しよう。

政治反動、生活破壊、自民党独裁体制をうちくだき、総選挙で推せん候補全員当選をかちとるべく奮闘していこう!

二 区 一 区



小川 彦(現)

成田高校、中央大学法学部卒業。衆議院議員小川豊明秘書、県議(当選三回)を経て、昭和五十一年衆議院議員に当選。衆議院議員農林水産委員。日本社会党千葉県本部役員。千葉中小企業労務協会連合会会長。四十六歳。



木原 実(現)

衆議院議員(当選四回)衆議院法務常任委員、公害対策並びに環境保全特別委員長。日本社会党中央執行委員(中小企業局長)、県本部委員長など歴任。現在党理論委員会委員、千葉県本部常任顧問。労働大学理事。六三歳。

動労千葉の推せん候補者

四 区 三 区



新村 勝雄(現)

旧制東葛中、東京高師修福田村村長(三期)、野田市議会議員(二期)、野田市長(四期)を経て、五十一年衆議院議員に当選。衆議院地方行政委員、公職選挙法改正に関する調査特別委員会理事。社会党千葉県財政委員長。六十一歳。



辻田 実(新)

安房高校、政法大学経済学部卒。総評オルグを経て安房地区労務局長。館山市議三期。日本社会党県本部教宣部長。青年対策部長。労働部長。地方政治部長。県地方議員団事務局長を経て、現在文教対策特別委員会委員長。四十五歳。